

❖ 企業概要



事業者番号	
会社名 日本語	小松織物工房
会社名 英語	Komatsu orimonokobo
創業・設立年	1930年
業種	絹織物製造販売
主要製品	白鷹紬着尺<白たかお召・白たか上布・白たか綾織>白鷹紬帯<白鷹帯八寸・九寸>白鷹紬小物<AKARI>
郵便番号	992-0821
会社住所	山形県西置賜郡白鷹町大字十王
代表者	小松 寛幸
TEL	0238-85-2032
FAX	0238-85-2032
URL	https://komatsu-orimono-
Instagram (ユーザーネーム)	komatsuorimonokobo
Facebook (ユーザーネーム)	komatsuorimonokobo
EC サイト	https://komatsuori.base.shop/
主な販売チャネル	問屋・買継商・百貨店・呉服専門店
国内外 EC 販売実績	
対応言語	日本語

❖ 創業者の想い・創業当時のエピソード

明治13年創業から六代にわたり「白鷹紬」を伝承してきた織元。江戸中期。出羽国上杉藩九代藩主上杉鷹山公が殖産振興の一環として養蚕をはじめ原料の産地として発展した白鷹地方。当時、出荷出来ない「屑繭」を原料とした糸で織り上げたものが「白鷹紬」の原点となりました。現在、経産省認定伝統的工芸品「置賜紬」、山形県指定無形文化財「本場米流白鷹板締緋小緋」を主とした先染織物の製造、販売をしております。日本で最北端にある緋織物産地から別名「北限の緋」とも呼ばれ、緋技法「板締緋」は日本で唯一。弊工房の看板商品である登録商標「白たかお召」は緻密な緋の柄と、「鬼皺」と呼ばれるお召特有の風合いから、呉服業界・着物愛好家からも高い評価を頂いております。

❖ 作者の想い、こだわり・地域との関わり

日本の民族衣装である「きもの」。多様化する現代社会においてモノの価値が見直される中、現在薄れつつある着物文化を後世に伝える環境づくりが重要と考えます。白鷹の自然に恵まれた静かな環境と、先人から受け継がれた技術でものづくりをする。そこには伝統技術と現代にある技術を取り入れ、新たな価値を加えて次世代に繋げていく。日本の織物を世界に発信していく為にも日々精進していきたいと思っております。また新たな取組として弊工房新ブランド「AKARI」を立上げ、着物生地と様々な素材を融合させ新たな価値の創造をコンセプトに商品開発を進めております。